

主催：NPO 法人水産物トレーサビリティ研究会・エコラベル部会

後援：函館国際水産・海洋都市推進機構、南かやべ漁業協同組合、南かやべ定置漁業協会

水産エコラベルの認証の現状と 南かやべの漁業



参加費 無 料
(事前にお申し込みが必要です)

日時 平成 22 年 1 月 26 日 (火) 13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)
場所 南かやべ公民館 (函館市川汲町 1520-4)
主催 NPO 法人水産物トレーサビリティ研究会・エコラベル部会
定員 100 名 (申込方法については裏面をご参照ください)

水産エコラベルの認証の現状と 南かやべの漁業

日時 平成22年1月26日(火)13:00～16:30
場所 南かやべ公民館(函館市川汲町1520-4)

食料問題や資源枯渇問題が深刻化する中、水産資源が持続可能であるためには、生産者による適切な資源管理と、生活者の意識向上とが必要であります。

持続可能な漁業の普及を目的とした認証制度としては「MSC 漁業認証」があります。MSC の取り組みは、日本の京都のズワイガニ・アカガレイ漁業、高知のカツオの一本釣り漁業など、世界で56漁業が認証を取得しています。また、イオンが日本の小売りとしては初めて「MSC-CoC」というMSC認証商品を加工することができるライセンスを取得しています。

一方、国内では、大日本水産会が認証枠組みを策定し、マリン・エコラベル・ジャパン(MEL ジャパン)が2007年12月に発足しました。この制度は、資源と生態系の保護に積極的に取り組んでいる漁業漁獲物をエコラベル認証し、このような漁業の取り組みを奨励・促進しようとするものであります。これまでに、日本海かにかご漁業会所属の大臣許可船12隻(鳥取県、島根県、新潟県)のベニズワイガニ、さくらえび2そう船びき網漁業(静岡県)、十三湖シジミ漁業(青森県)の3漁業が生産段階認証を取得しています。

このような「海のエコラベル」は、水産資源の枯渇傾向が急速に進んでいる中、今後、益々重要な制度となります。そこで、エコラベルとはなにか、南かやべの漁業、特に、定置網漁業およびサケ漁業とどのような関係があるかを報告検討します。

◆プログラム◆

13:00～13:10 趣旨説明

公立はこだて未来大学 教授 長野 章

13:10～13:50 海外および日本のエコラベル認証の現状と課題(主にサケについて)

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 帰山 雅秀

13:50～14:20 水産関係認証制度とエコラベル(エコラベルと衛生管理型漁港など)

北海道大学大学院水産科学研究院 教授 吉水 守

14:20～14:50 消費者側のエコラベルの評価について

株式会社道南ラルズ商品部 水産バイヤー 輿石 亮

14:50～15:20 行政におけるエコラベルへの取り組み

北海道水産林務部 水産局次長 山崎 峰男

(休憩 10分)

15:30～16:00 その他報告

・地域(南かやべの定置網等)における取り組みの現状

・南かやべの定置網漁業の現状

・さくらえび2そう船びき網漁業(静岡県)、十三湖シジミ漁業(青森県)について

16:00～16:30 質疑応答

16:30 閉会

◆定員:100名(参加費無料・事前登録制)

◆申込方法:下記のお問い合わせ先に、メール又はFAXにてお申し込みください。

※1 定員になり次第、締切とさせていただきます。

※2 ご記入頂いた個人情報は、本シンポジウムの運営の目的のみに利用されます。

※3 お申し込み受付期間は1月5日(火)から1月20日(水)とさせていただきます。

◆お申し込み・お問い合わせ先

NPO 法人水産物トレーサビリティ研究会・エコラベル部会

(株式会社エコニクス 担当:外崎・山下)

TEL:(011)807-6811 FAX:(011)807-6800

E-mail: ecolabel@econixe.co.jp

